

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期上富田町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

和歌山県西牟婁郡上富田町

3 地域再生計画の区域

和歌山県西牟婁郡上富田町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1980年の11,835人から2020年国勢調査をピークに約65年間にわたり人口が増え続けてきたが、2000年に年少人口と高齢人口比率の逆転がおき、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、総人口は2040年に13,862人となると見込まれる。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は、1985年の3,159人をピークに減少し、2040年には2,273人（14.6%）となると推計される一方、老年人口（65歳以上）は1980年の1,303人から2040年には5,003人（32.1%）と推計され増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2005年の9,513人をピークに減少傾向にあり、2040年には8,293人と推計される。

自然動態をみると、出生数は1986年の209人をピークに減少し、2022年には132人となっている。その一方で、死亡数は2022年には173人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲41人（自然減）となっている。社会動態をみると、2022年には転入者（575人）が転出者（512人）を上回る社会増（63人）であった。しかし、町内の住宅地の減少に伴い、転入者が減少し、今後社会減となる見通しとなる。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）

や、転入者の減少（社会減）等が原因と考えられる。

今後、人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な悪影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。想定される人口減少を真正面から受け止め、効果的な人口減少対策を企画・実行することで、人口の減少スピードを抑制し、いつまでも活気のある「自立、挑戦、協働のまちづくり」を目指していく必要がある。

なお、これらに取り組むにあたっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、地方創生に資する事業の実施を通して目標の達成を図る。

このため、本計画においては次の基本目標を掲げ、その達成を図る。

- ・基本目標 1 働く場のあるかみとんだ（安定した雇用の創出）
- ・基本目標 2 人が集まるかみとんだ（関係人口の創出と転入増加）
- ・基本目標 3 もうひとりの笑顔もかみとんだ（出生率の向上）
- ・基本目標 4 いつまでも元気でいきいきかみとんだ（安心・安全な暮らしの確保）
- ・基本目標 5 ずっと選ばれるかみとんだ（若者の都市部への流出を食い止める）
- ・基本目標 6 デジタル活用で未来につながるかみとんだ（デジタル活用の推進）

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
---------------------	-------	-----------------	---------------------	-----------------------------

ア	総生産額	521億円	570億円	基本目標 1
イ	観光入込客数	262,159人	300,000人	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.58	1.80	基本目標 3
エ	要介護 2 以上の認定者割合	11.2%	11.1%	基本目標 4
オ	若者（23歳）人口維持率	115.4%	118.0%	基本目標 5
カ	行政サービスのデジタル化が進んでいると考える住民の割合	22.2%	50.0%	基本目標 6

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期上富田町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 働く場のあるかみとんだ事業

（安定した雇用の創出）

イ 人が集まるかみとんだ事業

（関係人口の創出と転入増加）

ウ もうひとりの笑顔もかみとんだ事業

（出生率の向上）

エ いつまでも元気でいきいきかみとんだ事業

（安心・安全な暮らしの確保）

オ ずっと選ばれるかみとんだ事業

（若者の都市部への流出を食い止める）

カ デジタル活用で未来につながるかみとんだ事業

(デジタル活用の推進)

② 事業の内容

ア 働く場のあるかみとんだ事業

(安定した雇用の創出)

「農林業の振興と担い手の確保・育成、商工業の振興と企業誘致により雇用を増やす」：農業分野においては、遊休農地の利用推進と農地貸借の斡旋、販売体制の強化、各生産組織の育成強化、生産技術及び指導体制の強化により新規就農者の確保を図る。また、計画的な森林施業と集約化の実施（森林経営管理制度に基づく森林保全事業）により林業生産基盤の再生・活用を推進する。さらに、企業誘致活動及び起業・創業へのアプローチを官民協働で推進し新たな雇用を創出する。

【具体的な事業】

- ・新規就農者育成総合対策支援事業
- ・農地利用最適化推進委員による活動
- ・森林経営管理制度間伐業務
- ・事業所等立地促進事業 等

イ 人が集まるかみとんだ事業

(関係人口の創出と転入増加)

「関係人口を増やし、移住・定住環境の整備を図る」：地域の民間団体との協働によりスポーツ振興による観光（イベント等）と体験型観光ツアーの推進により関係人口を増やす。また、空き家登録案内業務により空き家の登録を推進し、移住・定住環境を整備する。

【具体的な事業】

- ・合宿等スポーツ事業による観光の取組（（一社）南紀ウエルネスツーリズム協議会との協働）
- ・体験型観光ツアーの取組（上富田町観光協会との協働）
- ・空き家登録案内業務 等

ウ もうひとりの笑顔もかみとんだ事業

(出生率の向上)

「幼少期の子育て支援と青少年の健全な育成を図る」：保育所の子育て

支援機能の充実（子育て支援センター）、総合的な子育て支援ネットワークの強化、働きながら育児ができる環境整備を推進する。また、地域全体で子どもを育て合う意識の向上と子ども食堂等（地域食堂）への支援を行う。

【具体的な事業】

- ・子育て支援センター制度の周知業務
- ・地域食堂の周知業務
- ・スポーツ教室の実施 等

エ いつまでも元気でいきいきかみとんだ事業

（安心・安全な暮らしの確保）

「町民の健康と安全を守る」：地域の民間団体との協働によりスポーツ振興による健康増進と介護予防を図る。運動習慣のある人を増やし、健診率の向上を目指す。また、防災・減災対策として、自主防災組織の結成促進、地震対策のための自助努力の支援（家具転倒防止対策等）、ライフラインの更新（橋梁・跨線橋・トンネルの長寿命化、水道管更新）を推進する。

【具体的な事業】

- ・上富田スポーツセンター（上富田スポーツサロン）の運営
- ・健康講座・運動教室の実施
- ・家具転倒防止対策事業
- ・自主防災組織が結成されていない町内会への働きかけ
- ・水道管更新事業 等

オ ずっと選ばれるかみとんだ事業

（若者の都市部への流出を食い止める）

「愛郷心を育み、上富田のアイデンティティを高める」：地域の歴史や文化の継承に取り組み、本町内唯一の高等学校である熊野高校との協働によるまちづくりを進めることで、愛郷心を育み上富田町のアイデンティティを高める。また、企業見学・職場体験・地元で活躍する事業者の講演会等を通じてUターンを促進する。

【具体的な事業】

- ・伝統文化・芸能継承事業
- ・熊野高校の自主的な地域活動への参加
- ・上富田町商工会による中学生の出前授業（あきんど先生）の開催 等

カ デジタル活用で未来につながるかみとんだ事業

（デジタル活用の推進）

「デジタル技術を活用し、行政サービスの充実と地域課題の解決を図る」：多様な分野でのデジタル活用を推進し、町民の活用と利便性向上を図る。教育DX（ICT基盤の整備と学習連携）として、GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の整備・活用を推進する。防災・農林業ではICT系技術を活用した情報管理の整備や作業の効率化と労働力の省力化に向けた取り組みを推進する。

【具体的な事業】

- ・1人1台端末の日常活用・持ち帰り学習の推進
- ・防災訓練業務
- ・自治体DX推進業務 等

※なお、詳細は第3期上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

450,000 千円（令和8年度～令和12年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度6月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から令和13年3月31日まで